

事業所名

バンビーニ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

10 月

25 日

法人（事業所）理念		【生き抜く力を身につける】子どもの心と生きる力を育てるために、自分で考え自主的に行動できる子に育てます				
支援方針		一人ひとりの子どものきめ細やかに見ていく環境を作り、豊かな自然の中で五感を育てていきます また、感覚統合による運動療育や、コグトレによる認知強化トレーニングを行い、目まぐるしく変わる世の中にうまく順応できない子や個性が強く周りに馴染めない子たちの居場所を作ります				
営業時間		9 時	30 分から	13 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本 人 支 援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所、退所または食事の際に挨拶の時間を設け、みんなが挨拶できるように習慣づける 手洗い、消毒などの基本的生活習慣を身につけ、体調管理に努められるよう援助する 持ち物の管理や片付けなどを自主的に行えるように支援する 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> マラソンや体操を行うことにより、身体を動かす楽しさを知らせる 運動することによりルールのある遊びで決まり事を覚えたり、運動を始める前に挨拶を交わすことでお互いに頑張ったことを称え、心と体を強く育てる 色々な運動器具を使って体幹を鍛え、姿勢保持に繋げていく 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> コグトレによるビジョントレーニング、空間認知、指先感覚を培い、身体をバランスよく使えるようにする 場所を区切って視覚刺激の少ない環境を作る 視覚的（絵カードやホワイトボードなど）に伝えることにより、見通しを立て安心して過ごせるようにする 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言葉を支援者がしっかりと受け止め、気持ちを伝える喜びを知らせる 人の気持ちに立って考えたり、相手の気持ちを考えながら言葉を掛けることが出来るように寄り添いながら伝えていく 集団活動の中で言葉でのコミュニケーションを取る大切さを学べるように支援していく 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやごっこ遊びを通して人とのかかわり方やルールを身につけていく コミュニケーションを取るのが苦手な子には、まず職員とコミュニケーションを取る事から始めて徐々にその域を広げて行けるように支援する 				
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや個別支援計画を作成する際、保護者との面談の機会を作る 送迎の際に、その日の出来事や様子を伝えて子どもの様子を保護者と共有する 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての情報提供や支援を行う 保育所や幼稚園との連携をはかり、支援体制を構築していく 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との情報を共有しながら連携を図る 地域自治会の催しや行事に参加する 		職員の質の向上	毎月1回、フィードバック研修や、子どもの情報をそれぞれ共有する場を作り、支援の質を高めて行けるようにしている	
主な行事等		避難訓練（地震・津波・洪水・火災等 年2回以上行う）、誕生会、季節の行事、デイキャンプ、近隣施設や公園の利用、食育プログラムなど				

事業所名

パンピーニ放課後等デイサービス・児童発達支援
(放課後等デイサービス)

支援プログラム (参考様式)

作成日

R6

年

10月

25日

法人（事業所）理念		【生き抜く力を身につける】子どもの心と生きる力を育てるために、自分で考え自主的に行動できる子に育てます					
支援方針		一人ひとりの子どものきめ細やかに見ていく環境を作り、豊かな自然の中で五感を育てています また、感覚統合による運動療育や、コグトレによる認知強化トレーニングを行い、目まぐるしく変わる世の中にうまく順応できない子や個性が強く周りに馴染めない子たちの居場所を作ります					
営業時間		9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	
支 援 内 容							
本 人 支 援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所、退所または食事の際に挨拶の時間を設け、みんなが挨拶できるように習慣づける 手洗い、消毒などの基本的生活習慣を身につけ、体調管理に努められるよう援助する 持ち物の管理や片付けなどを自主的に行えるように支援する 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> マラソンや体操を毎日行うことにより、身体を動かす楽しさを知らせる 運動することによりルールのある遊びで決まり事を覚えたり、運動を始める前に挨拶を交わすことでお互いに頑張ったことを称え、心と体を強く育てる 色々な運動器具を使って体幹を鍛え、姿勢保持に繋げていく 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> コグトレによるビジョントレーニング、空間認知、指先感覚を培い、身体をバランスよく使えるようにする 場所を区切って視覚刺激の少ない環境を作る 視覚的（絵カードやホワイトボードなど）に伝えることにより、見通しを立て安心して過ごせるようにする 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言葉を支援者がしっかりと受け止め、気持ちを伝える喜びを知らせる 人の気持ちに立って考えたり、相手の気持ちを考えながら言葉を掛けることが出来るように寄り添いながら伝えていく 集団活動の中で言葉でのコミュニケーションを取る大切さを学ぶように支援して行く 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやごっこ遊びを通して人とのかかわり方やルールを身につけていく コミュニケーションを取るのが苦手な子には、まず職員とコミュニケーションを取る事から始めて徐々にその域を広げて行けるように支援する 実社会での買い物や公共施設の利用を通して社会のルールを知る機会を作る 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや個別支援計画を作成する際、保護者との面談の機会を作る 送迎の際に、その日の出来事や様子を伝えて子どもの様子を保護者と共有する 		移行支援	必要に応じて学校での様子を見学したり、情報を共有したりする		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との情報を共有しながら連携を図る 地域自治会の催しや行事に参加する 		職員の質の向上	毎月1回、フィードバック研修や、子どもの情報をそれぞれ共有する場を作り、支援の質を高めて行けるようにしている		
主な行事等		避難訓練（地震・津波・洪水・火災等 年2回以上行う）、誕生会、季節の行事、デイキャンプ、近隣施設や公園の利用、食育プログラムなど					

事業所名

バンビーニブルー（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

10 月

25 日

法人（事業所）理念		【生き抜く力を身につける】子どもの心と生きる力を育てるために、自分で考え自主的に行動できる子に育てます				
支援方針		一人ひとりの子どものきめ細やかに見ていく環境を作り、豊かな自然の中で五感を育てていきます また、感覚統合による運動療育や、コグトレによる認知強化トレーニングを行い、目まぐるしく変わる世の中にうまく順応できない子や個性が強く周りに馴染めない子たちの居場所を作ります				
営業時間		9 時	30 分から	13 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本 人 支 援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所、退所または食事の際に挨拶の時間を設け、みんなが挨拶できるように習慣づける 手洗い、消毒などの基本的生活習慣を身につけ、体調管理に努められるよう援助する 持ち物の管理や片付けなどを自主的に行えるように支援する 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> マラソンや体操を行うことにより、身体を動かす楽しさを知らせる 運動することによりルールのある遊びで決まり事を覚えたり、運動を始める前に挨拶を交わすことでお互いに頑張ったことを称え、心と体を強く育てる 色々な運動器具を使って体幹を鍛え、姿勢保持に繋げていく 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> コグトレによるビジョントレーニング、空間認知、指先感覚を培い、身体をバランスよく使えるようにする 場所を区切って視覚刺激の少ない環境を作る 視覚的（絵カードやホワイトボードなど）に伝えることにより、見通しを立て安心して過ごせるようにする 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言葉を支援者がしっかりと受け止め、気持ちを伝える喜びを知らせる 人の気持ちに立って考えたり、相手の気持ちを考えながら言葉を掛けることが出来るように寄り添いながら伝えていく 集団活動の中で言葉でのコミュニケーションを取る大切さを学べるように支援していく 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやごっこ遊びを通して人とのかかわり方やルールを身につけていく コミュニケーションを取るのが苦手な子には、まず職員とコミュニケーションを取る事から始めて徐々にその域を広げて行けるように支援する 				
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや個別支援計画を作成する際、保護者との面談の機会を作る 送迎の際に、その日の出来事や様子を伝えて子どもの様子を保護者と共有する 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての情報提供や支援を行う 保育所や幼稚園との連携をはかり、支援体制を構築していく 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との情報を共有しながら連携を図る 地域自治会の催しや行事に参加する 		職員の質の向上	毎月1回、フィードバック研修や、子どもの情報をそれぞれ共有する場を作り、支援の質を高めて行けるようにしている	
主な行事等		避難訓練（地震・津波・洪水・火災等 年2回以上行う）、誕生会、季節の行事、デイキャンプ、近隣施設や公園の利用、食育プログラムなど				

事業所名

バンビーニブルー（放課後等デイサービス）

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

10 月

25 日

法人（事業所）理念		【生き抜く力を身につける】子どもの心と生きる力を育てるために、自分で考え自主的に行動できる子に育てます					
支援方針		一人ひとりの子どものきめ細やかに見ていく環境を作り、豊かな自然の中で五感を育てていきます また、感覚統合による運動療育や、コグトレによる認知強化トレーニングを行い、目まぐるしく変わる世の中にうまく順応できない子や個性が強く周りに馴染めない子たちの居場所を作ります					
営業時間		9 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所、退所または食事の際に挨拶の時間を設け、みんなが挨拶できるように習慣づける 手洗い、消毒などの基本的生活習慣を身につけ、体調管理に努められるよう援助する 持ち物の管理や片付けなどを自主的に行えるように支援する 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> マラソンや体操を毎日行うことにより、身体を動かす楽しさを知らせる 運動することによりルールのある遊びで決まり事を覚えたり、運動を始める前に挨拶を交わすことでお互いに頑張ったことを称え、心と体を強く育てる 色々な運動器具を使って体幹を鍛え、姿勢保持に繋げていく 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> コグトレによるビジョントレーニング、空間認知、指先感覚を培い、身体をバランスよく使えるようにする 場所を区切って視覚刺激の少ない環境を作る 視覚的（絵カードやホワイトボードなど）に伝えることにより、見通しを立て安心して過ごせるようにする 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言葉を支援者がしっかりと受け止め、気持ちを伝える喜びを知らせる 人の気持ちに立って考えたり、相手の気持ちを考えながら言葉を掛けることが出来るように寄り添いながら伝えていく 集団活動の中で言葉でのコミュニケーションを取る大切さを学べるように支援して行く 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやごっこ遊びを通して人とのかかわり方やルールを身につけていく コミュニケーションを取るのが苦手な子には、まず職員とコミュニケーションを取る事から始めて徐々にその域を広げて行けるように支援する 実社会での買い物や公共施設の利用を通して社会のルールを知る機会を作る 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや個別支援計画を作成する際、保護者との面談の機会を作る 送迎の際に、その日の出来事や様子を伝えて子どもの様子を保護者と共有する 		移行支援	必要に応じて学校での様子を見学したり、情報を共有したりする		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との情報を共有しながら連携を図る 地域自治会の催しや行事に参加する 		職員の質の向上	毎月1回、フィードバック研修や、子どもの情報をそれぞれ共有する場を作り、支援の質を高めて行けるようにしている		
主な行事等		避難訓練（地震・津波・洪水・火災等 年2回以上行う）、誕生会、季節の行事、デイキャンプ、近隣施設や公園の利用、食育プログラムなど					